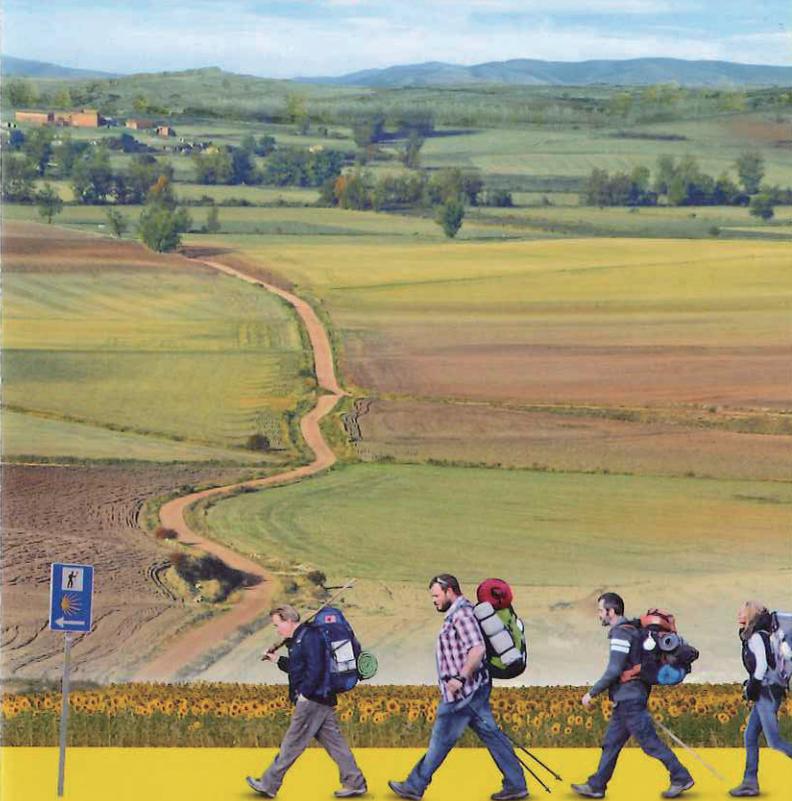


さあ、人生の旅に出かけよう



亡き息子のバックパックを背に歩きはじめた聖地巡礼の道。
それは“星の平原”と呼ばれる、世界遺産サンティアゴ・デ・コンポステラへの800km。
生きる喜び、そして新しい自分との出会いを描いた人生賛歌!

星の旅人たち

www.hoshino-tabibito.com

THE WAY

いつか歩きたいと思い焦がれていたスペインの巡礼の道が、
ついに心温まる映画になった。

よし、行こう 彼の地へ! 心の旅へ… 子を持つ父親として
果たして本当の交流をして来たか。
いつか自分も一人の巡礼者になり
子の魂と語り始めていた

石丸謙二郎 (俳優)

榎木孝明 (俳優)

心に深い傷を負った父親が、
人生に感謝を捧げるプロセスが見事に描かれている。
心があたたかくなるような旅である。美しい映画だ。

鎌田 實 (医師・作家)

人生に処方箋などない。
この映画の主人公達のように、ひたすらまっとうに歩けば、
生きる喜びに出会う。

みなみらんぼう (シンガー・ソングライター)

人生もカミーノも、与えられた道を一步一步重ねていくしかない。
その小さな一歩こそが尊く奇跡なのだというのを、
肉体を通して知ることがカミーノの最大の意義である。

黛 まどか (俳人)

人生は旅、歩き続けることそのものに意味がある。
それをさりげなく教えてくれる映画。
この傑作を、悩める人、迷える人に見て欲しい。
きっと、目指すべき灯りが見つかることでしょう。

辰巳琢郎 (俳優)

熱くて頑固でやさしい景色と人々。
作り手の味のする素朴だが元気の出る料理の数々。
スペインの魔力にやられてしまう!

おおつきちひろ (スペイン料理文化研究者・レストランオーナーシェフ)

(願不同・敬称略)

この映画は、私の中で5本の指に入る素晴らしいものでした。
主人公と見知らぬ巡礼者たちは、人生の深い意味を教えてくれる。
本物の「心の巡礼」だ。

C.W.ニコル (作家)

なにも変わらない見つからない戻らない
それでも彼らが過ごした時間は輝かしい
いつかわたしも星の旅人になりたいと願う

KiKi (モデル)

旅をするのに理由なんていない。
どこかに行こうと思った瞬間からすでに旅は始まっている。
亡き息子と父親の心の旅は永遠に続いていくだろう。

歩 り え こ (旅ドル)

何かを求めて歩いても誰も答えは与えてくれない。
しかし、この道を歩ききった体が、心が、すでにその答えを得ているはず。
内なる心の巡礼の旅へようこそ。

森岡朋子 (NPO法人日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会 理事長)



人生の“道”を見失った初老の男がひとり。アメリカ人眼科医のトム(マーティン・シーン)は、ひとり息子ダニエルの突然の訃報に、途方に暮れる。サンティアゴ・デ・コンポステラ巡礼の初日、嵐に巻き込まれ、不慮の死を遂げたというのだ。果たして、ダニエルは何を想い、旅に出る決意をしたのか? トムはその真意を確かめるべく、亡き息子のバックパックを背にサンティアゴ・デ・コンポステラへと旅立つ……。

監督・脚本・出演: エミリオ・エステヴェス [ホビー]「メン・アット・ワーク」 出演: マーティン・シーン「地獄の黙示録」、
デボラ・カーラ・アンガー「クラッシュ」、ジェームズ・ネスビット「英雄の証明」、ヨリック・ヴァン・ヴァーヘニンゲン「47RONIN」
2010年/アメリカ・スペイン合作/英語/128分/原題: The Way / ビスタサイズ/ドルビー-SRD
後援: スペイン政府観光局、NPO法人日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会
提供: ニューセレクト 配給: アルバトロス・フィルム 提供: ニューセレクト 配給: アルバトロス・フィルム

www.hoshino-tabibito.com